

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第12期 第2年 第1回 第2日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2019(令和元)年5月19日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 21人

アニータ リシケシュ、アリ ファズラット シャローン、ウル エリック
ファーレイ、大越 ミュートン トミオ、金 海花、ゴタメ アデイカリ
アニタ、蔣 香梅、鈴木 ミリアム、スタント イルワン、崔 敬心、チョ
チョ カイン、寺田 ヘザー、トラン フォン ズオン、バテネフ アルチョム、
ポール ウツザル クマル、ボソ ロドリゲス ミゲル アンヘル、前田
喜与美、ラサル ジュリエン、劉 愛玲、ロペス ハイロ、ロマンダ
デイビッド

(2) 事務局

ながぬま 担当課長、とよだ たんとうかかりちよう いわきり たんとうかかりちよう せきぐち しゅにん くさかべ
職員、たかほし せんもんちようさいん
職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 7人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

スタント委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議2019年度第1回第2日を開催する。今日は、児玉さんと許さんが欠席だ。まず、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局豊田担当係長が説明)

スタント委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。まずは、臨時会についてだ。事務局から説明をお願いする。」

スタント委員長「何か質問はあるか。」

アリ委員「質問ではないが、先日、2018年度の年次報告を市長にしてきた。私は、日本はもう少し第2外国語に力を入れたらよいのではないかということ意見を述べた。」

スタント委員長「ほかに何かあるか。(なし)それでは、議事に入る。まずは、代表者の欠員と補充についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)では、説明にもあったように残りの期間が1年を切っているので、補充はしないことにしたい。賛成の人は手を挙げてください。(19人)では、補充しないことで決定とする。次は、オープン会議についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。」

寺田委員「去年と同じようにコメンテーターを呼ぶのか。」

スタント委員長「まだそこまでは決まっていない。」

寺田委員「紹介したい人がいる。」

スタント委員長「後ほど事務局にお問い合わせする。」

ロペス委員「今回は提言案があるので、詳しくコメントをもらえる人に来てもらうのがよいと思う。」

スタント委員長「では、続いて実行委員会の報告をお願いする。」

前田副委員長「実行委員会では、昨年のようにグループをいくつもつくってグループディスカッションをするのではなく、2つの分科会というかたちで提言案に対

して意見をもらうのがよいという意見が多かった。コメントーターについても、専門家に来てもらいアドバイスがもらえるとよいという意見があった。」

スタント委員長「何か質問や意見はあるか。(なし)では、手法としては2つの分科会というかたちで開催することに賛成の人は手を挙げてください。

(全員賛成)続いて、プログラムとタイムスケジュールについても、資料にあるとおりで賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、次の議事に移る。提言について事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料4、4-1に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)今の説明を意識しながら、提言に向けて審議をして欲しい。それでは、このあとは移動・休憩を挟んで部会審議だ。全体会の再開は16時15分からとする。」

【情報・広報部会】

崔部会長「それでは、部会を始める。まずは、前回会議の確認を事務局からお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

崔部会長「では、説明があったように、まずは部会長の選出について審議したい。私事で恐縮だが、転勤が決まってしまったため、代表者を続けることができなくなってしまった。スムーズに引き継ぎをするためにも今日の会議で部会長を決めたい。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が選出方法について説明)

崔部会長「では、さっそく候補者を募りたい。立候補はいるか。(なし)推薦はあるか。」

劉委員「副部会長のアリさんを推薦する。」

アリ委員「前田さんを推薦したい。事前の打ち合わせ会議に参加できないので、せっかく推薦してもらったが難しい。」

崔部会長「では、アリさんは辞退ということだが、前田さんはどうか。」

前田副委員長「ほかにいなければ引き受ける。」

崔部会長「ほかにいるか。(なし)それでは、新部会長は前田さんということではよろしいか。賛成の人は手を挙げてください。(10人)では、本人以外は賛成ということで、前田さんに決定だ。よろしければ、あいさつをお願いする。」

前田副委員長「まずはオープン会議に向けて意見をうまくまとめていければと思う。

みなさんどうぞよろしくお願ひします。」

崔部会長「今日はまだ私が部会長として進行する。では、引き続き資料の説明を事務局からお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料5-1、5-2に基づき説明)

崔部会長「何か質問や意見はあるか。」

劉委員「今まで話し合ってきた中では、QRコードと職員向けの研修というアイデアがあったと思う。」

事務局高橋専門調査員「QRコードについては、飛んだ先が多言語になっていないと意味がないのではないか。職員向けの研修については、業務に関係する知識や情報をきちんと持つておくことは重要だと思うが、職員によってバラつきがある。一律にすべての職員に研修をするという方法が本当に効果的なのかということも考えて欲しい。」

ロベス委員「QRコードについてだが、すでに多言語になっているものは意外と多いと思う。」

事務局高橋専門調査員「多言語になっている資料は意外とあるかもしれないが、実はウェブに上がっていない場合も多い。QRコードがダメと言いたいわけではなく、具体的に何を載せるか、本当にその情報がウェブにあるのかといったことを丁寧に話し合っ欲しい。」

ロベス委員「研修についてだが、去年のオープン会議で出た意見では、外国人に関する研修はあるが必須ではないと言っていた。すでにある研修の中に組み込むかたちで、必須にしたらどうか。」

事務局高橋専門調査員「当然、それぞれの担当窓口で必要な知識は身につけるべきだと思うが、すべての職員を対象にというのは範囲が広すぎる。」

ロベス委員「どの職員でも外国人に関する最低限のことは知っていて欲しい。」

事務局高橋専門調査員「『最低限』というのは、具体的にどのレベルのことか。」

ロベス委員「たとえば、国際交流センターがあることだ。」

崔部会長「少し話題を変えたい。帰宅困難者用一時滞在施設についてなのだが、ラゾーナのような民間の施設もあるが、職員の人たちが動くためのマニュアルのようなものはあるのか。」

事務局高橋専門調査員「説明したように、市の施設と民間の施設があり、統一のマニュアルのようなものはないと思う。」

前田副委員長「基本的に多言語での対応までは期待できないと思うが、水や充電などを案内できるようなものはあった方がよいのではないかと思う。一人一人に配って案内するというよりは、1枚で大きく貼り出すのがよいのではないか。」

鈴木委員「一時滞在施設に普段から多言語資料を置いてもらうことはできないか。」

アリ委員「災害に関するアプリをつくったらどうか。」

事務局高橋専門調査員「アプリはある。」

ラサル委員「もし、インターネットが使えなくなったらどうなるか。」

アリ委員「災害時に開放されるFree Wi-Fiというのがある。」

崔部会長「ほかに何かあるか。」

事務局高橋専門調査員「この部会は、何か1つの話が盛り上がってまとまらないうちに、また別の話が盛り上がってということで、なかなか1つのことを掘り下げて審議できていないように思う。とくに、情報に関しては、第9、10、11期でも提言が出ているので、それをふまえて審議をして欲しい。私からの提案だが、提言ということを見ると、情報に関しては次の3つくらいのことが選択肢として思い浮かぶ。1つ目は、過去の提言を再提言する。2つ目は、ワンストップセンターに関する事。3つ目は、代表者会議として何かの資料やツールをつくる。ほかにもあるかもしれないが、まずは今の3つの選択肢を軸に審議してはどうか。災害時の一時滞在施設については、かなりはっきりしているので引き続き審議してもらってよいと思う。」

崔部会長「今の提案について、ほかに何か案はあるか。（なし）それでは、ひとまず今の提案に沿って進めていきたい。今日は判断するための資料もないので、これで決定ということではないが、みなさんの関心をアンケートとして聞きたい。まず、情報について（①ツールの作成・・・1人、②過去の提言の再提言・・・0人、③ワンストップセンター・・・9人）次に、帰宅困難者用一時滞在施設について引き続き審議することに賛成の人（8人）今の段階でのみなさんの関心がわかった。次回は資料を準備してもらったうえで、あらためて審議したい。資料のリクエストはあるか。」

鈴木委員「ワンストップセンターについて、どこまでやってくれるかを知りたい。」

崔部会長「ほかにあるか。（なし）」

事務局高橋専門調査員「ワンストップセンターに限らず一通りの資料は準備する。」

崔部会長「それでは、時間になったので今日の部会はここまでとする。」

【教育・就労部会】

スタント委員長「それでは、教育・就労部会を始める。今日はマハバットさん
[ウラコワ委員]が辞任されたので、新しく部会長を選出する必要がある。
部会長が決まるまで、私が代わりに進行をする。まずは前回会議の確認を
事務局からお願いする。」

(事務局日下部職員が資料1に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)続いて、今日の部会審議の流れと
部会長の選出について説明をお願いする。」

(事務局日下部職員が部会審議の流れと部会長の選出について説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、候補者を募りたい。ま
ず、立候補はいるか。(なし)推薦はあるか。」

チョ委員「副部会長のアルチョムさん[バテネフ委員](と蔣さん)。」

金委員「質問だが、事前の会議は平日が多いか。」

スタント委員長「事務局の事情もあるので、平日だ。」

金委員「寺田さん。」

寺田委員「時間的に厳しい。」

スタント委員長「アニータさんを推薦したい。ほかにいるか。(なし)それでは、
アルチョムさん[バテネフ委員]、蔣さん、アニータさんに意思確認をした
い。」

バテネフ委員「仕事の関係で平日の参加は難しい。副部会長についてはそのまま引
き受けたい。」

蔣委員「私は今期で終わりなので、13期のことを考えたら新規の代表者がよいと
思うが、誰もいなければやる。」

アニータ委員「子どももいるので無理だ。」

スタント委員長「それでは、アルチョムさん[バテネフ委員]とアニータさんは辞退
ということで、残る候補者は蔣さんだけだ。蔣さんで賛成の人は手を挙げて
ください。(全員賛成)では、蔣さんコメントを。」

蔣委員「残り1年だが、がんばりたい。」

スタント委員長「それでは、私の進行はここまでする。蔣さんと事務局で簡単な
打ち合わせをお願いする。みなさんは少し休憩を。」

(小休憩)

蔣部会長「それでは、教育・就労部会を再開する。まずは事務局から資料説明をお

願います。」

(事務局 日下部職員が資料 6-1 に基づき説明)

蔣 部会長「何か質問はあるか。(なし) 今日最終的に3つのテーマから2つに絞れればと思う。いきなり多数決で決めるということではなく、まずは話し合ってお互いの理解を共有して深めたい。」

寺田 委員「オープン会議の参加者は日本人が多かった。教育は大切だと思うが、日本人の参加者は就労に関心があるかもしれない。」

スタント 委員長「多文化・国際理解教育と子どもへの日本語支援だと、日本語支援の方が大切ではないかと思う。」

アニー 委員「私も子どもの日本語支援の方がよいと思う。」

チョ 委員「私も同じ意見だ。」

トラン 委員「昨年のオープン会議で、日本人の参加者から外国人の仕事と労働環境に関する質問が結構多かった。私も寺田さんと同じ意見で就労支援を選ばない。」

スタント 委員長「就労支援なら、日本語支援のような間接的な支援のかたちがよいと思う。たとえば、市民館などの日本語教室を積極的に紹介するなどがよいのではないか。あるいは、労働環境や人権問題も重要な課題だと思う。」

ボソ 委員「学校での子どもへの日本語支援が一番重要だと思う。就労支援に関しては、仕事をするためには、やはり自分の時間だったり、お金だったりをかけないと。何でもやってくれと言ってしまうのは、個人的には少し恥ずかしい気がする。」

寺田 委員「職場での人間関係というか、日本人と外国人が一緒に働くときのビジネスマナーを教えるような研修など、何かできないかと思う。」

ボソ 委員「こういう課題があるから、こういうことをして欲しいということを実体的に挙げる必要があるのではないか。」

スタント 委員長「企業によっては、グローバルコミュニケーションのような研修があったりする。日本と海外で仕事の仕方の違いもある。ただ、それぞれの企業によっても違うので、難しいのではないか。」

大越 委員「仕事のこと大事だが、一番必要なのは子どもの日本語支援ではないかと思う。」

金 委員「私も学校で日本語の支援をしているが、たとえば144時間で話せるようになる子もいれば、片言しか話せない子もいる。学校での支援だけでは、学習

言語の習得には足りない。私の場合は大田区で教えているが、学校での80時間の支援のあとは地域の日本語教室がある。ただ、日本語教室のことを知らない親も多いので、それを伝えることが重要だ。」

アニータ委員「川崎市にもそういうところはあるか。」

金委員「私は、川崎市では聞いたことがない。でも、そういう場所がないと大変だと思う。」

蔣部会長「私が知っているのは、国際交流センターの学習支援と幸区にもNPOがあった気がする。」

事務局豊田担当係長「あとは、ふれあい館でもやっている。」

蔣部会長「日本語指導等協力者の派遣は、子どもが増えているが、予算はそれほど増えていないので子どもの時間が減らされることがある。」

チョ委員「1人当たりの時間が減らされるということか。」

蔣部会長「そうだ。」

バテネフ委員「就労支援に関心があったが、やや根拠が弱いかなと感じている。具体的に、どういうところで、どういう問題があるのかということがないと提言できないと思う。情報やデータが欲しい。」

蔣部会長「それでは、そろそろ時間になったので、テーマを2つに絞りたいがよいか。（異議なし）1人2回まで手を挙げてください。（①学校での子どもへの日本語支援・・・10人、②多文化・国際理解教育・・・4人、③就労支援・・・6人）では、次回からは学校での子どもへの日本語支援と就労支援の2つに絞って掘り下げていきたい。次回に向けて資料のリクエストはあるか。」

金委員「川崎市内で外国人を雇用している企業とどういう外国人がいるのかかわれば知りたい。」

バテネフ委員「就労支援については、データが欲しい。」

蔣部会長「それでは、これで今日の部会は終わりにする。」

【全体会】

スタント委員長「それでは、全体会を再開する。まずは、部会報告だ。教育・就労部会からお願いする。」

蔣委員「部会長のマハバットさん[ウラコワ委員]が辞任することになり、私が新しく部会長を務めることになった。今日は3つのテーマの中から2つに絞る

ことにした。いろいろな意見が出たが、1つは多文化・国際理解教育よりも学校での子どもへの日本語支援の方が、優先度が高いのではないかとということになった。もう1つは、提言にできるかわからないが労働者の人権問題も重要だということになった。ということで、今日の部会では学校での子どもへの日本語支援と就労支援の2つに絞って、次回以降にさらに掘り下げていくことにした。」

スタント委員長「何かあるか。」

アリ委員「就労支援に関しては、非正規でも5年働くと正社員になれたりするということもある。そうした情報が外国人にも伝わることは重要だと思う。」

スタント委員長「ほかに何かあるか。(なし)では、続いて情報・広報部会からの報告をお願いします。」

崔部会長「実は、私が6月の会議を最後に転勤することになってしまったので、後任の部会長を決めた。新しい部会長は、前田さんに決まった。今日の審議内容だが、情報に関してはQRコードの活用や外国人に関する基本的な業務知識についての研修といった話が出た。それに対して、QRコードは飛んだ先が多言語になっているかということが問題としてある。研修に関しては、はたして研修という方法が効果的なのかということもある。防災に関しては、帰宅困難者用一時滞在施設について、何か対策が必要ではないかということをはなれ合った。最後に議論を整理して、①代表者会議として何か多言語の資料をつくる、②過去の提言を再提言する、③これから開設されるワンストップセンターに関連する提言をする、の3つについて希望を聞いたところ今日の段階では③のワンストップセンターに関心のある人が多かった。それと、帰宅困難者用一時滞在施設についても引き続き審議していくこととなった。」

スタント委員長「何かあるか。(なし)では、次に実行委員会報告を市民祭り実行委員会からお願いします。」

トラン委員「インターナショナル・フェスティバルに関して、報告することが2つある。1つは、スペースについて。去年はテーブルが2つあったが、今年は1つ分のスペースしかない。当日の企画については、リボンで魚をつくるのと国旗を描くのは今年もやりたい。出欠に関しては、次回の会議のときに確認する。」

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)では、続いてニューズレター編集委員会からの報告をお願いします。」

ロベス委員「今回は、No. 67の記事について話し合った。来年の1月発行予定なのでまだだいぶ先になるが、劉さんが出産支援の制度について記事を書いてくれることになった。」

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)なければ、今日の議事は以上となる。私の方から先日の市長報告について報告したい。市長との意見交換では、1つは『要求から参加へ』という話が出た。市に対して要求するだけでなく、やはり何か私たちもできることで協力していくことも大切だと感じた。それともう1つ、『ホーム』という話も印象的だった。どういうことかという、外国人市民にとって、川崎が第2の『ホーム』と感ぜられるように、不自由なく暮らせるようになるという話だった。私からは以上だ。事務局から事務連絡はあるか。(なし)それでは、今日の日程は終了となる。次回は、6月16日、日曜日、午後2時から、国際交流センターで開催する。これで2019年度第1回第2日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」